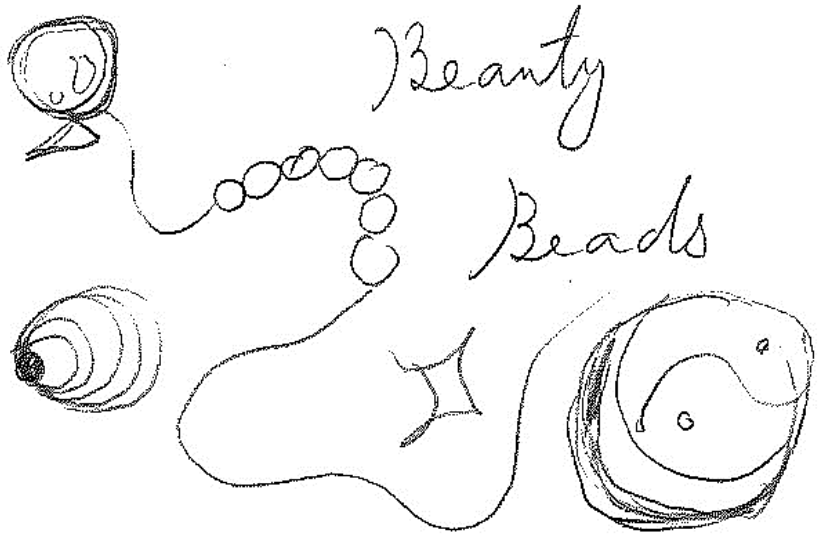
KSKR（土曜日）　第三種郵便物承認　通巻 9128 号　2023 年 11 月 7 日発行

KSKR 土曜日



NPO 法人つくし通信　№.６４号

目次

1.　表紙
2.～3.　2023 年度　通常総会を終えこれからにむかって
4.　日帰り旅行 to 琵琶湖
　8/26 レクリエーション開所
5.　新職員紹介
6.～9.　メンバーのつぶやき
10.　夏のボーナスキャンペーンのご報告
　冬のボーナスキャンペーンのお知らせ
11.　会費納入・寄付のお礼・お願い
12.　今後の予定・編集後記

2023 年度　通常総会を終えこれからにむかって

2023 年 10 月
ＮＰＯ法人つくし　理事長　遠山 照彦

記録的な猛暑の夏が過ぎ、錦秋の候となりましたが、会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃より、ＮＰＯ法人つくしに多大なるご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

通常総会は、コロナ禍のため書面での開催が続いていましたが、2019 年６月の総会以来、実に４年ぶりに対面式で開催することができました。会員の皆さまと、直接お会いして意見交換・交流を深められたことを、大変うれしく思いました。通常総会の概要については、「土曜日」の前号に掲載しましたので、ここではこの間の主な出来事をふりかえり総会の議論も踏まえて、これからの方向性について主要な点を述べたいと思います。

この４年の間にさまざまなことがありました。コロナ禍にあっても事業を継続したこと、相模ビルの耐震工事施工(費用約 2000 万円)、2021 年度報酬改定により年間収入が 350 万円減少したことへの対応、「こころのふれあいサロン事業」の委託金減額への対応、などが大きな事柄でした。それらをクリアしつつ、日々現場では、利用者支援の一層の充実や民主的組織的運営の一層の発展に、継続して取り組んできました。特に「サロン事業」への委託金減額への対応(運動)としては、利用者・職員が先頭に立って、交渉の場に臨み(利用者のマスコミ投稿もあった)、署名(1697 筆)や事業継続のための寄付金(84 万 6685 円)を集めました。そのことも功を奏して、京都市から委託金減額を緩和させることにつながりました。あらためて、当事者の声の力と、「サロン」(居場所)の必要性を実感した出来事でした。

それらの成果は、議案書に書き込まれていますが、根幹である利用者支援については、単に集団的な就労支援ではなく、就労についても生活の困りごとについても、丁寧に個別の支援を行っており、そのことが「つくし」の特徴・強味となっています。職員のみなさまには、厳しい人員体制の中で、日々奮闘して成果を出されていることに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

昨年も申し上げましたように、現在 NPO 法人つくしは新たな発展段階への移行期にあると考えています。その発展のためのカギとなる事柄は、次の４つの主要課題です。①人的体制を強化しつつ、②事業拡大を成功させ、③経営問題を解決する、④現在の運営システムから、より職員の主体性が発揮でき永続的に NPO 法人

つくしを維持・発展させていくための「新しい運営システム」に移行すること、です。特に④の「新しい運営システム」への移行について、詳しく説明したいと思います。

2011 年度に私が理事長の任を引き受けて以来、組織運営はいくつかの段階を経て発展してきました。2011 年度は、旧２ヶ所の「共同作業所」から現在の「相模ビル」に移転し「障害者自立支援法」の法定施設に移行しました。この大事業は、理事会と臨時に設けられた「事務局」(正副理事長、理事、正副施設長で構成)が奮闘しました。「理念」もこの移転・発展事業の中で、2013 年に役職員・利用者参加のもとで作成されました。

2012 年度～2017 年度は、理事会のもとに「実務遂行ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ」(正副理事長、理事のちに常任理事、正副施設長で構成)が設置され、それまでの理事会-正副施設長-職員では、遂行しきれない、人事・経営・規程策定改定などを中心に担ってきましたが、不十分な組織運営・経営管理になっていました。一方支援内容については、毎月の「施設運営員会」(のちに「支援事業運営員会」)で事例検討をするのが精一杯で、支援の質を高めることはなかなかできない状態でした。

そのため 2018 年度から、理事会のもとに常任理事会を設置し、つくしハウスの基幹会議として職員と常任理事を構成員とする「運営会議」を位置づけ、同時に常任理事が直接現場に入って利用者支援と組織運営の両面から助言しつつ、職員と理事会が協力協同して法人と事業所の運営をしてきました。その中で、職員の支援の質は飛躍的に向上し、民主的組織的運営のシステムの推進にむけての姿勢と取り組みも大きく前進しました。

今後は常任理事会が役割を終え、これまでの事業と運営の到達に立ってより職員の主体性が発揮できるように、また永続的に NPO 法人つくしを維持・発展させていくために、正副施設長をはじめとして職員が運営の中心となり理事会と協力協働しつつ、全役職員が協働して運営する組織を目指しているところです。そのための討議・検討を 2021 年度から開始し、「新しい運営システム」の在り方を一歩一歩作り上げていっているところです。そのことなくしては、ますます激化する障がい者福祉(社会保障・社会福祉全体)の切り捨て政策に対抗し、障がい者(そのほか生きにくさを抱えた人も含めて)の地域の生活拠点を守っていくことは困難だと思われます。

そのためには、会員・役職員の連帯・団結が不可欠となります。会員の皆さまには、今後とも益々のご協力のほどよろしくお願いいたします。

またよりよい生活(リカバリー)を目指して、日々頑張って通所されている利用者の皆さまに理事長として、敬意を表しますとともに、この場をかりて感謝申し上げます。

日帰り旅行 to 琵琶湖

令和５年６月２１日（水）、琵琶湖へ日帰り旅行に行って来ました！コロナが世間を席巻してから実に４年振りとなる、待ちに待ったつくしハウスの日帰り旅行でした。利用者さん 14 名職員４名総勢 18 名の参加となりました。今年は助成金が出たおかげで格安で参加することができました。

朝早めの集合時間にもかかわらず、皆さん全員、所定の時間までに集合。そのおかげで、早めのバスと電車に乗れ、大変スムーズに目的地まで移動できました。

まずは本旅行のメインイベントの一つ、大津プリンスホテルでのランチビュッフェ。37 階ガラス張りのレストランから琵琶湖の大パノラマー望しながらのお食事。ビュッフェスタイルということで、多くの方が何皿もお代わりされていました。特に人気があったのがソフトクリーム。ラッキーにも我々の席から近かったので、何回もソフトクリームコーナーに足を運ばれる方も。お食事後、移動のシャトルバスを待つまでホテルロビーで一休み。お土産を買ったり、ゆったりソファーでお昼寝する人など、それぞれのんびり過ごされました。

お次はもう一つのメインイベントの琵琶湖クルーズ。乗船時は我々の他に大勢の団体客御一行様おられ、座る席を見つけるのに大変なほど。でもその団体御一行様方はすぐに次の港で降りられ、後は、ゆったりのんびりクルーズでした。恒例（？）の記念写真もここで撮ってもらいました。

当初は雨天が危ぶまれましたが、晴れ女の K さん参加のおかげでしょうか、途中小雨がぱらつく程度でほぼ雨に遭わずに済みました。おかげで大津港までの徒歩での行き帰りの道行きも楽しいお散歩となったのではないでしょうか。

（中村）

レクリエーション開所

８月 26 日（土）、レクリエーション開所を行いました

夏の終わりに、少しでも夏祭りの雰囲気を楽しんでもらえるよう企画しました。缶釣り大会、カラオケなどで楽しみました。

缶釣りは、空き缶の飲み口に、竿につるしたクリップの針を引っかけてもらいます。簡単にできそうで、なかなか飲み口の小さな穴に針を入れるのは難関で、ゲームに集まった皆さんでワイワイ言いながら、童心にかえって楽しみました。カラオケもそれぞれ十八番を歌い、懐メロに盛り上がりました。

コロナ前のようには戻りませんが、今できる楽しみ方で、ほど良い心地の良い時間が過ごせたと思います。

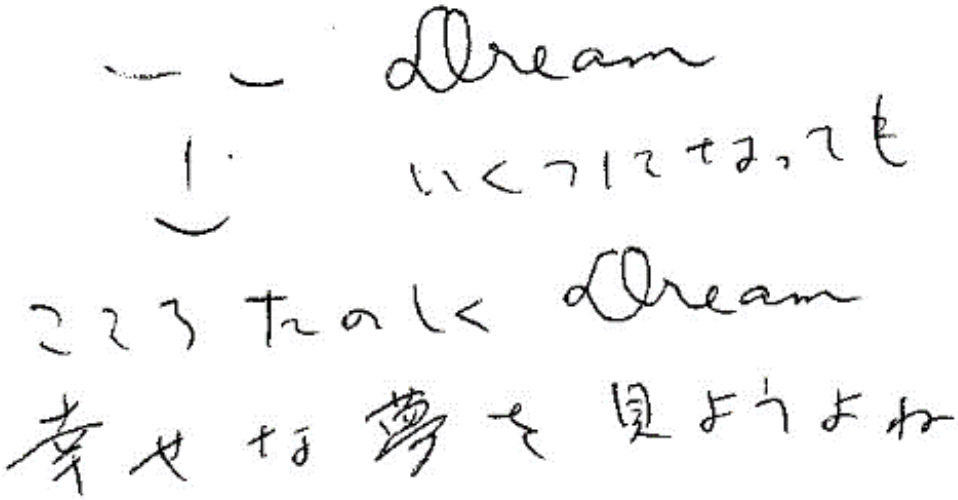
（西沢）

☆新職員紹介☆

つくしハウスに、また新たな職員が加わりました。これからどうぞよろしくお願いいたします！

8 月からつくしハウスで働かせていただいております、齊藤志織と申します。10 年前、つくしハウスでボランティアとしてお世話になりました。またつくしハウスで過ごせるようになったことをとても嬉しく思っています。まだまだ不慣れなことも多いですが、皆様のお手伝いが出来ればと思いますので、よろしくお願いいたします。

（齊藤）



メンバーのつぶやき

阪神タイガースの優勝から感じたこと

M.H

今年、阪神タイガースがリーグ優勝した。その理由に、岡田監督は「ファインプレーはいらない、堅実な野球をしてミスしないようにすることだ」と言っている。そのためには、基礎・基本の繰り返しだと言っている。ボール球は振らない・確実に捕球し、確実に野手に向かって球をほることだと言っている。

それと同じで、つくしで日頃作業していることで思うのだけれど、１つ１つ着実に作業をすることだと思う。ゆっくりでもいいから１つ１つの作業を丁寧に着実にすることだと思う。その反復、くり返しが仕事の向上につながりよい結果がでてくるだろうと思う。

すなわち、私の友が口をすっぱくして言ったように「当たり前のことを当たり前にやって」１つ１つの作業を丁寧に着実にするよう心がけることだと思う。

みんなも、初心に戻って頑張ってやりたいと思う。

R.Y

とある喫茶店で
見た女性。ショート
ヘアが印象的。

山内竜平

God be with ye
ゴッド ビィ ウィず
「神があなたとともにありますように」

M.I

「コロちゃん都々逸　その十九」

中川　博

○ 酔って聞き入る女将のしゃべり
心ちよいからまた客に

○ 人の人生気にするよりは
老いしおのれをどうするか

○ まずは一杯お酒があっての
浪花女のカラオケか

「素人短歌　その２の１５」

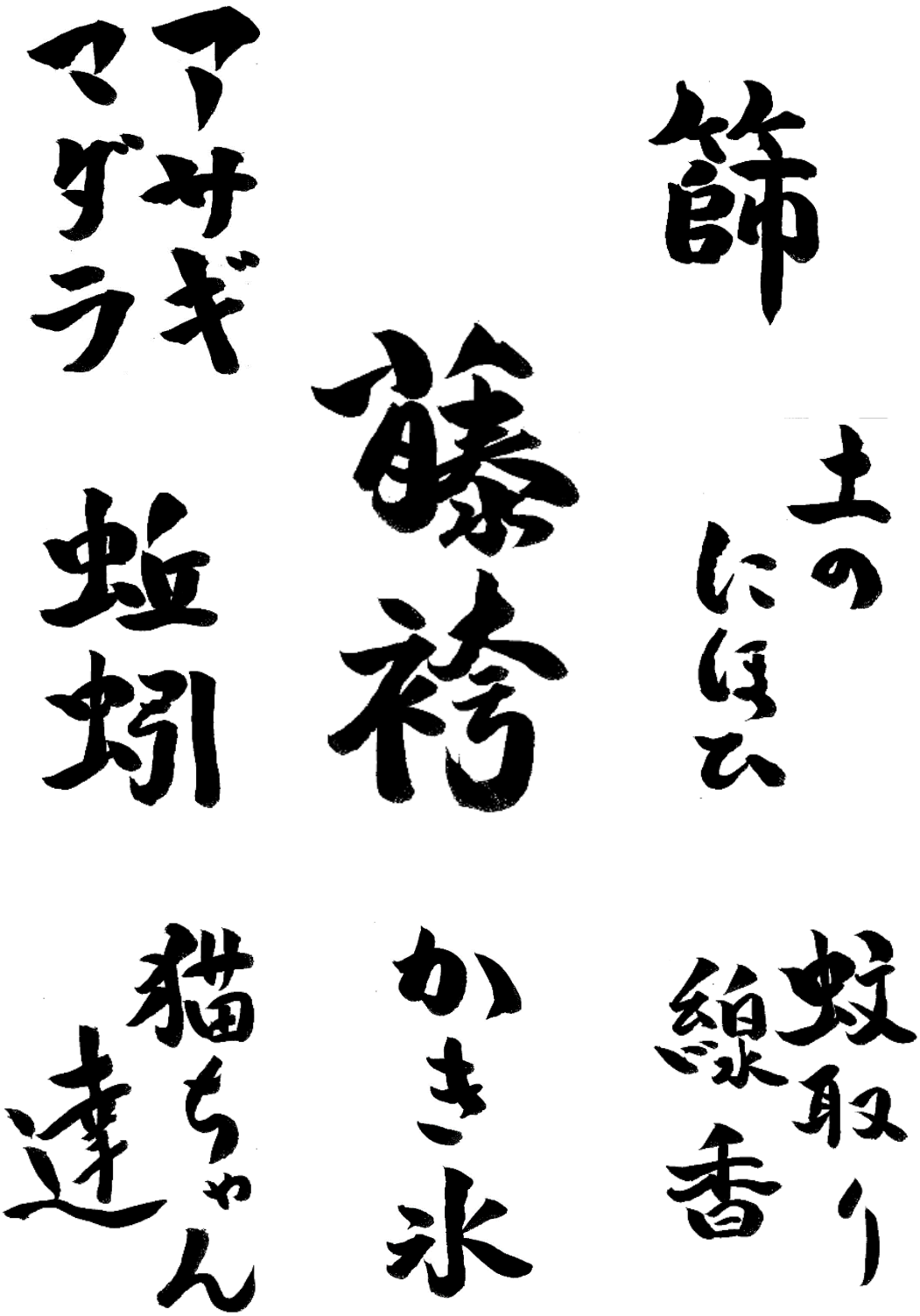
中川　博

○ 祭の日母が作った鯖寿司を
思い浮べる老舗「いづう」

○ ある時に便利と気づく
階下には自販機ありラーメン屋あり

○ この店に来る人達の人生と
並ぶパンのパーソナリティ

～「書」の頁～



逢ひたさ見たさは
飛び立つ如く籠の
鳥かや恨めしや
つゝじ

☆2023 夏のボーナスキャンペーンのご報告☆

2023 夏のボーナスキャンペーンにご協力いただきまして誠にありがとうございました。今回は 182 件のご注文をいただき、売上額は 207 万 8,112 円となり、メンバーさんに多くのボーナスを支給することが出来ました。

また、今回も売り上げの一部を、「きょうされん災害支援基金」への寄付と、「京都市こころのサポートふれあい交流サロンはんなり上京」の運営資金に充てさせていただきました。重ねて、感謝申し上げます。

「夏が終わったばかりなのに、もう冬か」と思われるかもしれませんが、次は冬のボーナスキャンペーンが始まります。引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

（福万）

★2023 年冬のボーナスキャンペーンのお知らせ★

つくしハウスが一丸となって取り組む「冬のボーナスキャンペーン」の季節が始まっております。皆さまのお手元にはボーナスキャンペーンのご案内は届いていますでしょうか？

この冬も夏の売上を超えられるよう、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

（西田）

★いつもご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます★

★2023/6/1～/9/30 にご協力して頂いた方です。（順不同）★
★総額￥９７，１００★

正会員の皆様	賛助会員の皆様	ご寄付・物品を頂いた皆様
髙城佳代子様/もえぎ設計様/廣瀬勝様/つくしハウスご家族の皆様/他	萩原三義様/長橋晴男様/葛西繁様/汐崎啓子様/井上ひろみ様/加味根史朗様/吉田一生様/京都民医連中央病院様/つくしハウスご家族の皆様/他	遠山照彦様/髙城佳代子様/長橋晴男様/葛西繁様/汐崎啓子様/神田千秋様/三浦次郎様/大野研而様/つくしハウスご家族の皆様/他

※正会員の方で賛助会費をいただいた方につきましては、ご寄付として掲載させて頂いています。ご了承下さい。

2023 度　ＮＰＯ法人つくし　正会員費・賛助会費納入
ご協力のお願い

ＮＰＯ法人つくしの財政は、皆様方の温かいご協力とお力添えにより支えられています。この場を借りて心からお礼申し上げます。正会員費・賛助会費の納入にご協力をお願い致します。

正会員費　2,000 円（年間）	
賛助会費　1,000 円（一口）	

※同封の振込用紙をご利用ください。口数、金額をご記入頂けますようお願い申し上げます。

また、『土曜日』にご氏名を掲載することがございます。お手数ですが、（可・不可）のいずれかに〇印をつけて頂ければ幸いです。

記入例：正会員費　年会費（年 2000 円）１口　￥2,000、
賛助会　会費（1 口 1000 円）１口　￥1,000　寄付金￥2000 など

※すでにご協力頂いている方につきましても、振込用紙を同封させていただいておりますので、ご容赦ください。誠に勝手ばかり申し上げますが、ご寄付を頂ければ幸いと存じます。

＜今後の主な予定＞

11 月 20 日～24 日　　はんなり上京サロン文化祭
12 月 15 日　　メンバーボーナス支給日
12 月 29 日～1 月 4 日　年末年始休所

NPO 法人つくし　つくしハウス
〒602-8141　京都市上京区堀川通丸太町上る上堀川町 114
TEL　075-366-6064　FAX　075-366-6065
Email　onikai@iaa.itkeeper.ne.jp
HP　http://tsukushihouse.org/

上京こころのサポートふれあい交流サロン
〒602-8148　京都市上京区丸太町通堀川西入西丸太町 185 番地
京都二条ハイツ 202
TEL/FAX　075-755-7017

編集人　NPO 法人つくし
〒602-8141　京都市上京区堀川通り丸太町上る上堀川町 114
発行人　関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺真田山町 2-2　　東興ビル４階　　定価 50 円

＜編集後記＞

今号では、4 年振りに開催した日帰り旅行の報告をさせていただきました。コロナ禍の中出来なかったことが段々と出来るようになり、喜びや楽しみがひとつひとつ戻ってきているようで、とても嬉しい気持ちになります。今後も、つくしハウスで起こるそんなひとつひとつを、皆さんにお届けしていきたいと思います。

（福万）